

9月定例会報告

会期＝令和3年9月1日～30日

令和3年9月定例会は、会期 30日間で招集され、報告 1件および人事案件 1件、単行議案 8件、補正予算関係 5件、決算認定 9会計が上程され、すべて原案通り可決されました。陳情 10件を審議し、採択された2件を議員提出議案として審議、可決されました。9月議会は前年度決算を質す重要な会議であり、住民目線で納税者の立ち位置から、税金の使われ方や財政の健全化をチェックしました。



一般質問および議案質疑、委員会において、皆さんからの「声」を届け、実現に向けた提案および発言をしました。幸田町議会議員 田境 毅

～令和2年度の決算概要～

決算総額 歳入：295億 3064万円(45億 648万円 増) 歳出：284億 7462万円(43億 8291万円 増)

一般会計決算

法人町民税 減少(前年度5.79億円→ 3.57億円)

令和2年度の一般会計決算額は、歳入総額295億3,064万円(45億648万円増)、歳出総額284億7,462万円、差し引き10億5,603万円。これから繰越額1億1,952万円を差し引いた額は、9億3,651万円となりました。主な歳入は、町税で86億4,607万円。前年度と比較し1,713万円(0.2%)減少しました。(千円単位四捨五入)



「ふるさと寄附金制度」の狙いは ①自治体の歳入増 ②地域の知名度向上 ③特産物(返礼品)の消費拡大 ④地域活性化などであり、効果が出ています

歳入



ふるさと寄附金 27億1,084万円(県下二位の寄贈額)

個人町民税や固定資産税など増加、法人町民税は減となった。

平成28年5月から6年目となった「ふるさと寄附金」は27億1,084万円、希望返礼品が巣ごもり用の品目へ変化しており、昨年38億5,464万円から大幅に減少。

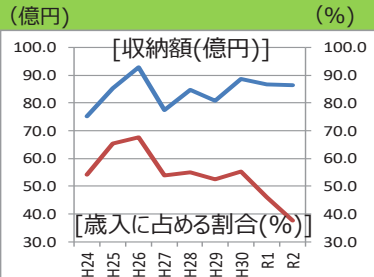
歳出



総額220億3,407万円(前年度比 40億4,429万円(22.5%)増)

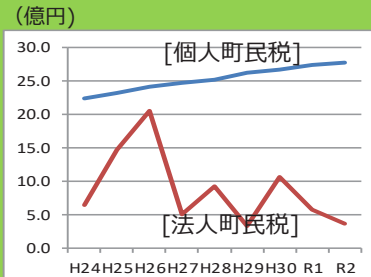
増加費目の主なものは、特別定額給付金事業、国勢調査事業など総務費 40億220万円、子育て世代への臨時特別給付金(町独自含む)など民生費で5億8,924万円。減少費目は、藤田医科大学岡崎医療センター建設負担金の皆減など衛生費 5億8,519万円、諸支出金 4億6,475万円、公債費 1億5,971万円などである。

年度	収納額(億円)	歳入に占める割合(%)
H24	75.2	54.1
H25	85.4	65.4
H26	93.0	67.7
H27	77.5	53.9
H28	84.7	55.1
H29	80.7	52.5
H30	88.7	55.3
R1	86.6	45.9
R2	86.5	37.6



収納額と歳入に占める割合の推移グラフ

年度	個人町民税(億円)	法人町民税(億円)
H24	22.4	6.4
H25	23.2	14.7
H26	24.2	20.5
H27	24.7	5.1
H28	25.2	9.3
H29	26.2	3.3
H30	26.7	10.6
R1	27.4	5.8
R2	27.7	3.6



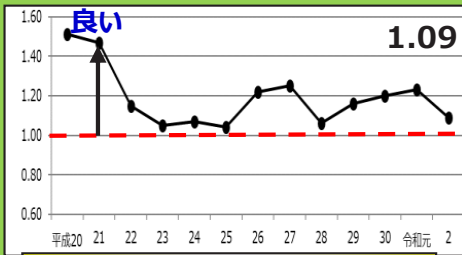
個人町民税と法人町民税の推移グラフ



主な財政指標でみる「わがまちの財政は健全か？」

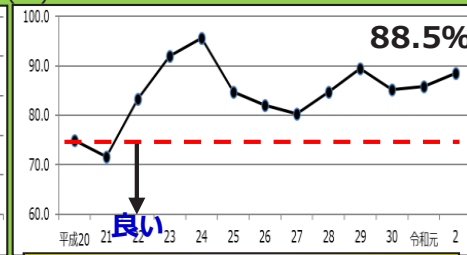
幸田町の財布の中身(家計簿)をチェック! (家計に当てはめると…)

財政力指数(家計の自立度)



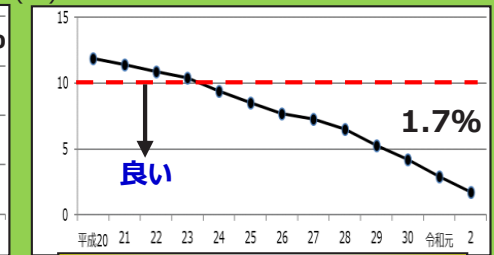
1.0以上で国からの地方交付税なしで、財政運営ができる。
引き続き1.0以上を維持

(%) 経常収支比率(エンゲル係数)

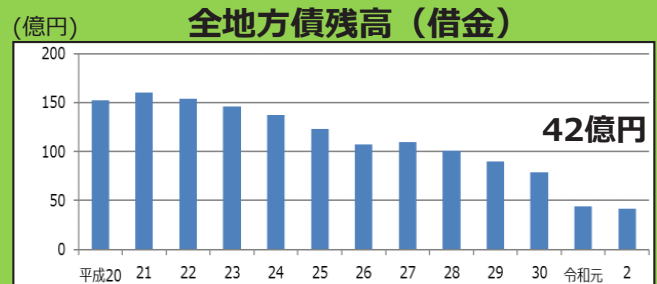
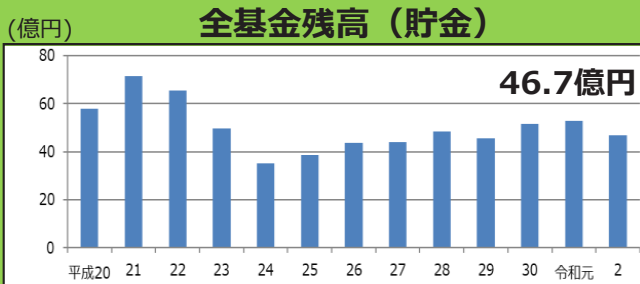


予算に対し必要経費が占める割合。
75%以下が望ましい。
基準値未達で微増

(%) 実質公債費比率(ローン返済率)



一般会計の中で借金返済額が占める割合。10%以下が望ましい。
右肩下がりで良好



より良い行政サービスをより効率的に提供できることが望まれる!

カーボンニュートラルへの取り組みを提案!

※全2件

私の願い

脱炭素社会の実現には、ライフサイクルアセスメントの考えで、全産業、行政、住民一人ひとりの取り組みが必要。

一般質問

総合計画の位置づけ、考え方、ゼロカーボンシティ表明の考え、取り組む課題、県との連携、新エネ購入補助メニュー拡充の考え、取り組み計画はどのようなか。



現状

ごみ減量意識は県下一。新エネルギー設備や次世代自動車購入補助は近隣比較で劣る部分あり。

回答

今年度中に新エネルギー設備設置補助を拡充、ゼロカーボンシティ表明する。



ゼロエミッション化加速へ最新のFCV車両

今年度、ゼロカーボンシティ表明し、購入補助メニューを拡充する

地域施設の感染症対策を強化 1000万円

【事業概要】

23行政区毎の新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品購入支援

【基準額】

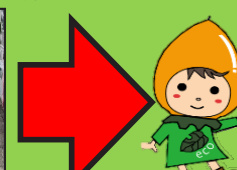
- ・801世帯以上の区 = 50万円
- ・801世帯未満の区 = 40万円

たきょう毅 暮らしの相談

※対策いただきました!



①グリーンベルトをショートカットする車両散見、児童生徒接触事故の懸念あり。地域へ打ち上げても改善されない苦戦案件。



樹脂ポール設置

たきょう毅のホームページは右記QRコードからアクセスお願いいたします。
地域の困りごと、町政に対するご意見・ご要望などございましたらお気軽に「たきょう毅暮らしの相談」をご活用ください!

たきょう毅

検索



<https://takyo-giin-dnwu.com/>



※【お願い】町政レポート配布にあたり、氏名および住所の相違や変更がありましたらご連絡ください。(連絡先: 表面/上部記載)